

NAT の背後にある SPA9xx の設定および音声問題の発生

目次

[概要](#)

[SPA9xx 電話がネットワーク アドレス変換 \(NAT \) の背後にあると音声の問題が発生するのはなぜですか。](#)

[関連情報](#)

概要

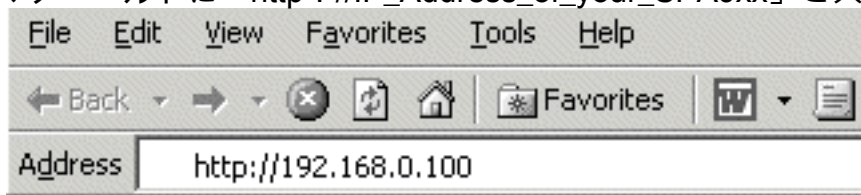
このドキュメントは、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

Q. SPA9xx 電話がネットワーク アドレス変換 (NAT) の背後にあると音声の問題が発生するのはなぜですか。

A. SPA9xx Web ユーザ インターフェイスにアクセスする

次の手順を実行します。

1. SPA9XX IP アドレスを確認します。IP アドレスは、IP 電話の LCD 画面から確認できます。
。 [Setup Button] を押し、9 を押します。LCD 画面には現在の IP アドレスが表示されます。
2. ブラウザを起動してアドレス フィールドに「http://IP_Address_of_your_SPA9xx」と入力



し、Enter キーを押します。注

:これで、NAT 用に SPA9xx を設定する準備ができました。Web インターフェイスがユーザ名とパスワードを要求する場合、プロバイダーによってユニットがロックされていることを意味します。個別の VoIP プロバイダーに連絡し、支援を受けてください。

NAT サポートの設定を有効にする

次の手順を実行します。

1. SPA の [EXT1] タブにある [NAT Mapping Enable] および [NAT Keep Alive Enable] を [yes] に設定します。

SIPURA
technology, inc.

Sipura Telephone Configuration

Info System SIP Provisioning Regional Phone **Ext 1** Ext 2 User

User Login basic | advanced
Personal Directory Call History

General

Line Enable: yes

Share Line Appearance

Share Ext: Set to "Yes". Shared User ID: Set to "Yes".

Subscription Expires:

NAT Settings

NAT Mapping Enable: yes NAT Keep Alive Enable: yes

NAT Keep Alive Msg: \$NOTIFY NAT Keep Alive Dest: \$PROXY

[Submit All Changes] をクリックします。

- また、SPA9XX を登録する SIP サーバが NAT をサポートしている場合、SPA のアウトバンドプロキシ設定を使用して SPA に接続できます。

Proxy and Registration

Proxy: fwd.pulver.com:5060 Use Outbound Proxy: Set to "Yes".

Outbound Proxy: nat2.pulver.com:5060 Use OB Proxy In Dialog:

Register: yes Make Call Without Reg: no

Register Expires: 3600 Ans Call Without Reg: no

Use DNS SRV: no Outbound Proxy. DNS SRV Auto Prefix: no

Proxy Fallback Intvl: 360 Proxy Redundancy Method: Normal

- SPA 製品は、STUN (Simple Traversal of UDP through NAT) プロトコルもサポートしています。[SIP] タブの下で、[NAT Support Parameters] を探します。[STUN Server] フィールドに STUN サーバアドレスを入力し、[Substitute VIA Addr] および [STUN Enable] を [yes] に設定します。[EXT IP] に WAN IP アドレスを入力し、[Submit All Changes] をクリックします。

NAT Support Parameters

Handle VIA received: no Handle VIA rport: no

Insert VIA received: no Insert VIA rport: no

Substitute VIA Addr: yes Send Resp To Src Port: no

STUN Enable: yes STUN Test Enable: yes

STUN Server: stun.fwdnet.net:3478 EXT IP: 24.251.32.7

EXT RTP Port Min: NAT Keep Alive Intvl: 15

STUN Server.

注: 対称の NAT がある場合は STUN は動作しません。syslog を使用してデバッグを有効にし、[STUN Test Enable] を yes に設定した場合、SPA 製品は対称の NAT があるかどうかに関する情報を出力します。NAT で、UDP ポート 5060、5061、および 16384 から 16482 までのポート範囲のブロックを解除する必要があります。また、ファイアウォールに「SPI」のような機能がある場合はそれも無効にする必要があります。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)